

第 66 回 中国高等学校選手権水泳競技大会

平成30年度 全国高等学校総合体育大会
兼 中国予選会
第86回日本高等学校選手権水泳競技大会

実 施 要 項

- 主 催 中国高等学校体育連盟 (公財) 全国高等学校体育連盟
(公財) 日本水泳連盟 鳥取県高等学校体育連盟
- 後 援 (公財) 鳥取県体育協会 鳥取県教育委員会
米子市教育委員会
- 主 管 中国高等学校体育連盟水泳専門部
(一財) 鳥取県水泳連盟
鳥取県高等学校体育連盟水泳専門部
- 公式計時 SEIKO
- 1 期 日 ・競泳 7月20日(金)・21日(土)・22日(日)
・飛込 7月21日(土)・22日(日)
・水球 7月20日(金)・21日(土)・22日(日)
- 2 会 場 ・競泳 鳥取県営東山水泳場
〒683-0031 鳥取県米子市東山町92番地 Tel 0859-34-0126
・飛込 鳥取県営東山水泳場 飛込プール
〒683-0031 鳥取県米子市東山町92番地 Tel 0859-34-0126
・水球 鳥取県立米子工業高等学校プール
〒683-0052 鳥取県米子市博労町4丁目220 Tel 0859-22-9211
- 3 競技規則 2018年度(公財)日本水泳連盟規約(競技規則)による。

4 競技種目

種 目		男 子	女 子
競 泳	自由形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
	背泳ぎ	100m 200m	100m 200m
	平泳ぎ	100m 200m	100m 200m
	バタフライ	100m 200m	100m 200m
	個人メドレー	200m 400m	200m 400m
	フリーリレー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
	メドレーリレー	4×100m	4×100m
飛 込	3m飛板飛込	1 1 演技種目 ※制限選択飛 各群より 5 演技種目 (難易率合計 9. 5 以内) ※自由選択飛 各群より 6 演技種目 (このうち 1 種目はいずれの群より選 択してもよい)	1 0 演技種目 ※制限選択飛 各群より 5 演技種目 (難易率合計 9. 5 以内) ※自由選択飛 各群より 5 演技種目
	高飛込	1 0 演技種目 ※制限選択飛 各群より 4 演技種目 (難易率合計 7. 6 以内) ※自由選択飛 各群より 6 演技種目	9 演技種目 ※制限選択飛 各群より 4 演技種目 (難易率合計 7. 6 以内) ※自由選択飛 各群より 5 演技種目
※参加選手 1 6 名以上の競技種目は予選を行う。			
水 球	予選リーグ、決勝トーナメント、順位決定戦を行う。 ただしチーム数により変更する場合がある。 グループ分けは、前年度優勝校を A ブロックに、前年度準優勝校を B ブロックに分けシードする。 残りはフリー抽選とする。		

5 競技順序

(1) 競泳 (開会式 9:30 競技開始 第1日 10:00 第2日 9:30 第3日 9:30)

第1日 7月20日(金) 開門8:00

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 女子4×100mメドレーリレー予選 | 10. 男子200mバタフライ予選 |
| 2. 男子4×100mメドレーリレー予選 | 11. 女子200mバタフライ予選 |
| 3. 女子800m自由形予選 | 12. 男子200m自由形予選 |
| 4. 男子400m個人メドレー予選 | 13. 女子200m自由形予選 |
| 5. 女子400m個人メドレー予選 | 14. 男子200m平泳ぎ予選 |
| 6. 男子50m自由形予選 | 15. 女子200m平泳ぎ予選 |
| 7. 女子50m自由形予選 | 16. 男子1500m自由形予選 |
| 8. 男子200m背泳ぎ予選 | 17. 女子4×100mメドレーリレー決勝 |
| 9. 女子200m背泳ぎ予選 | 18. 男子4×100mメドレーリレー決勝 |

第2日 7月21日(土) 開門8:00

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 19. 女子4×100mフリーリレー予選 | 33. 女子800m自由形決勝 |
| 20. 男子4×100mフリーリレー予選 | 34. 男子1500m自由形決勝 |
| 21. 女子100m背泳ぎ予選 | 35. 女子200m背泳ぎ決勝 |
| 22. 男子100m背泳ぎ予選 | 36. 男子200m背泳ぎ決勝 |
| 23. 女子400m自由形予選 | 37. 女子200m自由形決勝 |
| 24. 男子400m自由形予選 | 38. 男子200m自由形決勝 |
| 25. 女子100mバタフライ予選 | 39. 女子200mバタフライ決勝 |
| 26. 男子100mバタフライ予選 | 40. 男子200mバタフライ決勝 |
| 27. 女子100m平泳ぎ予選 | 41. 女子50m自由形決勝 |
| 28. 男子100m平泳ぎ予選 | 42. 男子50m自由形決勝 |
| 29. 女子100m自由形予選 | 43. 女子400m個人メドレー決勝 |
| 30. 男子100m自由形予選 | 44. 男子400m個人メドレー決勝 |
| 31. 女子200m個人メドレー予選 | 45. 女子200m平泳ぎ決勝 |
| 32. 男子200m個人メドレー予選 | 46. 男子200m平泳ぎ決勝 |
| | 47. 女子4×100mフリーリレー決勝 |
| | 48. 男子4×100mフリーリレー決勝 |

第3日 7月22日(日) 開門8:00

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 49. 女子4×200mフリーリレー予選 | 59. 女子200m個人メドレー決勝 |
| 50. 男子4×200mフリーリレー予選 | 60. 男子200m個人メドレー決勝 |
| 51. 女子100m背泳ぎ決勝 | 61. 女子100m平泳ぎ決勝 |
| 52. 男子100m背泳ぎ決勝 | 62. 男子100m平泳ぎ決勝 |
| 53. 女子400m自由形決勝 | 63. 女子4×200mフリーリレー決勝 |
| 54. 男子400m自由形決勝 | 64. 男子4×200mフリーリレー決勝 |
| 55. 女子100mバタフライ決勝 | |
| 56. 男子100mバタフライ決勝 | |
| 57. 女子100m自由形決勝 | 閉会式 |
| 58. 男子100m自由形決勝 | |

(2) 飛込

7月21日(土) 開会式 12:00 競技開始 13:00 男女 飛板飛込
22日(日) 競技開始 9:30 男女 高飛込
競技の進行は監督会議で決定する

(3) 水球

7月20日(金) 開会式 9:00
20日(金)・21日(土)・22日(日)の競技開始・運営に関する詳細は監督会議で決定する。

6 参加資格

- ① 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。
- ② 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技専門部に登録し、平成30年(2018年)度(公財)日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- ③ア 平成11年4月2日以降生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での同一競技出場は1回限りとする。大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技の参加を認める。(出場とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。)
イ 特例として、この③のアに定める年齢制限について、中国等帰国生徒については適用しない。
- ④ チーム編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- ⑤ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- ⑥ 転校・転籍後1年未満のものは同一競技への参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- ⑦ 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- ⑧ 参加資格の特例
ア 上記①②に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、中国各県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定にしたがい大会参加を認める。
イ 上記③アのただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

『大会参加資格の別途に定める規定』

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、中国各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
ア (公財)全国高等学校体育連盟、中国各県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに、高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
ウ 各種学校にあっては、中国各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、中国大会、全国大会への出場条件が満たされていること。
エ 各種学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間帯が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運

営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

- ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項、及び中国大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

⑨ (競泳)

- 1) (公財)日本水泳連盟地方加盟団体主催の地方予選会(県単位)の成績で、各種目決勝8位までの入賞者、またはチーム、及び、予選、決勝を問わず日本高等学校選手権大会の標準記録を突破した者、またはチームは、主催団体の推薦を経てその種目に出場できる。
- 2) フリーリレーは、出場資格を得たメンバーを含め6名(補欠2名)まで、メドレーリレーは8名(補欠4名)まで申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目または他のリレーに出場する者に交代させることができる。

⑩ (飛込) 飛込は、各県(公財)日本水泳連盟加盟団体の推薦による。

⑪ (水球) 水球は、各地域の規定に従い、各県(公財)日本水泳連盟加盟団体の推薦による。

7 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
(但し、各県で定められている規定がある場合にはそれに従うものとする。)

8 参加制限

- (1) 競泳は、1校1種目3名以内、1名2種目以内(ただし、リレー種目を除く)とする。
- (2) 飛込は、1校1種目3名以内とする。
- (3) 水球は、1チーム監督1名、選手15名(試合の参加制限は13名以内)とする。

9 参加申込

※ 個人情報の取扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(1) 申込み方法

<競泳について>

- ・日本水泳連盟のWeb-SWMSYSを使用する。
- ・第66回中国高等学校選手権水泳競技大会に入力する。
- ・下記書類を期日までに、大会事務局へ送付すること。

提出書類

- ・学校長認知書(公印を押印)
- ・参加申込書

① Web-SWMSYSから印刷される競技会申し込み(エントリー)データ一覧表

② " (エントリーTIME)データ一覧表

③ " (リレー)データ一覧表(リレーのあるチームのみ)

・振込明細票のコピー（振込明細票には団体登録番号+キョウエイ+学校名を記載すること）

<水球、飛込について>

・別紙所定の『参加申込書及び学校長認知書』（男女別各2部⇒1部コピー可）

・振込明細票のコピー（振込明細票には団体登録番号+トビコム、スワイコ+学校名を記載すること）

以上2種類を担当校へ送付すること。

(注) ◎同一学校で競泳・飛込・水球に申し込む場合は別々の参加申込み用紙に記入すること。

◎競泳のタイムは県大会決勝タイム（8位表と同じ）を記入すること。

◎封書の表に『中国大会水泳申込書』と朱書すること。（レターパックも可）

◎水球は各チーム帯同審判を派遣する。※派遣できない場合は1日2万円の運営費を徴収する。

（運営費は近県等からの審判の派遣補助金とする。）

*運営費は、「団体登録番号+ウエイ」を入力し、下記口座に振り込むこと。

(2) 大会参加料

競泳・飛込は1人…2,500円、水球は1チーム…25,000円

(3) 申込み先

競 泳

〒689-1103	鳥取県鳥取市生山111 鳥取県立鳥取工業高等学校内 第66回中国高等学校選手権水泳(競泳)競技大会事務局 本 田 義 志 気 付 TEL0857-51-8011 FAX0857-51-8499
-----------	--

飛 込

〒683-0031	米子市東山町92 鳥取県営東山水泳場内 第66回中国高等学校選手権水泳(飛込)競技大会事務局 安 田 千 万 樹 気 付 TEL0859-34-0126 FAX0859-34-0126
-----------	--

水 球

〒682-0812	鳥取県倉吉市下田中町801 鳥取県立倉吉東高等学校内 第66回中国高等学校選手権水泳(水球)競技大会事務局 今 崎 哲 也 気 付 TEL0858-22-5205 FAX0858-22-5206
-----------	---

※「参加申込書」と「振込明細票のコピー」は、郵送で送付すること。

振込用紙の振込人名義の欄には、各県水泳連盟団体登録番号（5ケタ）のあとに「キョウエイ」「トビコム」「スワイコ」のいずれかを入力し、そのあとに学校名を入力すること
--

※大会参加料振込先（銀行振込 競泳・飛込・水球 共通）

「鳥取県高体連水泳専門部 木下 和成」

（トットリケンコウタイレンスイエイセンモンブ キノシタカズナリ）

鳥取銀行 湖山支店 普通0141046

(4) 申込み締切り

- ア 競泳 6月29日(金) 正午 必着
飛込 6月29日(金) 正午 必着
水球 6月22日(金) 正午 必着
(準備の都合上、各県予選会が終了しだい申し込むこと。)

イ 飛込演技種目申込手続きについて

飛込競技参加者は、規定の飛込演技ダイビングシートならびに計算用紙に、自分で行おうとする飛込演技種目の番号・名称・型・飛板または台の高さ・難易率を記入する。それぞれの該当競技の申込み締切りは21日(土)の競技については当日の11時までとし、22日(日)の競技についても21日(土)の12時より15時までの間に、飛込みプールサイドの『ダイビングシート入れ』の箱の中に投函すること。

10 競技方法

学校対抗とし、選手権校の決定方法は、以下による。

(1) 競泳

競技は予選・決勝とも9レーンとする。

個人種目は、1位8点、2位7点・・・8位1点とし、リレー種目は、1位16点、2位14点・・・8位2点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じときは、次の順に従って順位を決定する。

- ア リレー種目による得点の多い学校
イ 入賞者の多い学校(ただし、リレー種目は4と計算する)
ウ 1位の数
エ 2位の数(以下8位までこれにならう)

(2) 飛込

各種目とも、1位8点、2位7点・・・8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。ただし、総合得点と同じときは、次の順に従って順位を決定する。

- ア 入賞者の多い学校。
イ 1位の数。
ウ 2位の数。(以下8位までこれにならう)
エ 当該入賞者の得点の平均値が高い者。(得点平均値は、演技数で割り少数第3位を四捨五入する)
オ 当該入賞者の得点のうちで1種目について、最も高い数値を得た者。

(3) 水球

【予選リーグ】

7分×4ピリオドとし、4ピリオド終了後、引き分けの場合はPT戦を行う。

タイムアウトは1試合で2回とする。(但し、各ピリオド1回とする)

勝ち点制とし、4Pでの勝者に3点、敗者に0点、引き分けの場合は4P終了後PT戦を実施し勝者に2点、敗者に1点を与え、合計勝ち点の多いチームを上位とする。なお、棄権の場合は、そのリーグの最下位とする。勝ち点が同点の場合は、次の方式で順位を決定する。当該チーム同士の、①対戦成績
②得失点差 次に対象チーム以外の最高順位チームとの、③得失点差 ④総得点 それでも順位が決定しない場合は次順位のチームに対する、⑤得失点差⑥総得点 それでも順位が決定しない場合は、再度⑦PT戦で順位を決定する。

※但し、3チーム以上が同勝ち点になった場合、対象チームが2チームに減った時点で①に戻り順位を決定する。※得失点差、得点で順位が決定しない場合、上位1チームのみ順位を確定し、残りチームは①に戻り順位を決定する。※勝ち点が2組以上で同点チームのある場合は、上位の組から順位を決定す

る。もし、順位を決定できない場合は、リーグ全体結果を順位決定に用いる。

【決勝トーナメント】

8分×4ピリオドとし、4ピリオド終了後、引き分けの場合はPT戦を行う。
タイムアウトは各ピリオド1回とする。

【順位決定戦】

5位以下の順位決定戦は、7分×4ピリオドとし、4ピリオド終了後、引き分けの場合はPT戦を行う。
タイムアウトは1試合で2回とする。（但し、各ピリオド1回とする）

1.1 表彰

- (1) 個人種目は、各種目上位3位まで表彰し、8位まで賞状を授与する。総合は8位まで表彰する。
前年度優勝校は優勝トロフィーを必ず持参し、開会式で返還すること。
- (2) 前年度の各種目における優勝校にはレプリカを授与する。

1.2 宿泊

選手・監督及び引率責任者等（参加申込書に記された者及び若干名のマネージャー）の宿泊は、配宿事務局を通じて申し込まなければならない。
別冊の宿泊要項を参照のこと。

1.3 監督者会議

	日 時	会 場	参 加 者
競 泳	7月19日（木）17:00 より	米子市文化ホール	参加校監督1名
飛 込	7月21日（土）11:00 より	県営東山水泳場飛込プールサイド	参加校監督1名
水 球	7月19日（木）16:00 より	県立米子工業高等学校	参加校監督1名

1.4 代表者会議

日 時 7月20日（金） 19時30分
会 場 監督者会議にて連絡します
参加者 各県代表者 3名以内（高体連水泳専門部より）

1.5 組み合わせ抽選会議（水球）

日 時 6月23日（土） 13時00分
会 場 鳥取県立鳥取中央育英高等学校
参加者 監督または引率責任者（代理の場合は委任状を提出すること）

1.6 公式練習の日程及び会場

(1) 競泳

競 技 会 用 プ ー ル	練 習 用 プ ー ル
(県営東山水泳場 50m プール)	(県営東山水泳場 25m プール)
19日（木） 13:00～16:30	13:00～16:30
20日（金） 8:00～ 9:15 ・競技終了30分	8:00～競技終了30分
21日（土） 8:00～ 9:15 ・競技終了30分	8:00～競技終了30分
22日（日） 8:00～ 9:15	8:00～競技終了30分

(2) 飛込

20日(金)	13:00~17:00	県営東山水泳場飛込プール
21日(土)	8:00~開会式、競技開始10分前まで	県営東山水泳場飛込プール
22日(日)	8:00~競技開始10分前まで	県営東山水泳場飛込プール

(3) 水球

19日(木)	12:00~17:00	県立米子工業高プール
20日(金)	8:00~開会式10分前まで	県立米子工業高プール
21日(土)・22日(日)	8:00~試合開始10分前まで	県立米子工業高プール

1.7 全国大会への参加資格

(1) 競 泳

ア 地域大会において、予選・決勝を問わず、標準記録を突破した者、または、チーム。(同タイムも含む)

イ 決勝種目1位、2位、3位の者またはチーム。

『特例』各都道府県より全国大会出場資格者を、最低男女1名ずつ2名まで推薦を認める。

条件 a 地域大会において、全国大会に出場資格を得なかった都道府県は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200mのレース、及び200m個人メドレー・自由形の50mのレースで地域大会において、標準記録に最も近い記録を樹立した者、男女各1名1種目のみ推薦することができる。

b 出場資格者が男女にまたがっていない場合は、欠けている方について1名。

(例) 出場資格者 男子のみの場合 女子1名

出場資格者 女子のみの場合 男子1名

注意 ① フリーリレー・メドレーリレーは、地域大会において出場資格を得たメンバーのみとする。ただし、補欠については各1名認める。

② 途中時間や、リレー種目の第一泳者の正式時間の記録では、標準記録と認めない。(個人種目は、必ずフラットレースで標準記録を突破しなければならない)

③ 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

④ 県大会の記録で出場することは認めない。

『全国大会特別出場措置』

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することが出来ない場合は、予選会への出場を免除する。ただし、その理由書を都道府県委員長に提出すること。届け出者は当該学校長とする。

このことに関する出場措置は、次のように行う。

① 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで+派遣選手とする。

② 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰り上げを行い、地域の出場者を3名とする。

(注) 各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中に含めなければならない。

標準記録（2018年度適用）★は改定記録

種目	男子	女子	
自由形	50m	★ 24.40	27.25
	100m	52.85	58.81
	200m	1:55.31	2:06.43
	400m	4:04.65	4:25.61
	800m	-----	9:11.13
	1500m	★ 16:16.25	
背泳ぎ	100m	59.03	1:04.88
	200m	2:08.74	2:19.16
平泳ぎ	100m	★ 1:04.75	1:13.24
	200m	2:19.68	2:36.50
バタフライ	100m	56.26	1:02.89
	200m	★ 2:04.39	2:18.19
個人メドレー	200m	2:08.69	2:22.63
	400m	4:33.44	5:03.14
フリーレー	400m	★ 3:36.31	4:02.26
	800m	7:52.81	☆ 8:49.61
メドレーリレー	400m	★ 3:56.68	4:26.16

(2) 飛込

ア 地域大会において、各競技種目の第1位の者。

イ 地域大会において、下記の標準点数を突破した者。（同点可）

種目	男子	女子
3m飛板飛込	11演技 323.00	10演技 285.00
高飛込	10演技 288.00	9演技 260.00

(3) 水球

ア 上位2チームまで。

イ 上位2チームの他、主催都道府県にチームがある場合は、主催都道府県枠として1チームを加えることができる。

注意 ① 主催都道府県枠のチーム選考は、地域大会の成績により決定する。

② 地域大会において、主催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会順位が地域枠の次の順位のチームを繰り上げ、地域枠+1チームとする。

18 連絡事項

- (1) 競技中の病気、負傷などの応急処置は主催者側において行いますが、その他の責任は負いません。なお、参加者は健康保険証を必ず持参してください。
- (2) 出場者は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者はその選手の行動に対して全責任を負うものとします。
- (3) 飛込競技の派遣審判員は、各県2名派遣をお願いいたします。
- (4) 個人情報については大会運営に必要な事項のみ公開します。関係機関には記録の報告、報道機関には記録の提供をします。